

標 題 : Relationship of asthma and rhinoconjunctivitis with obesity, exercise and Mediterranean diet in Spanish schoolchildren
スペインの学童における喘息および鼻結膜炎と肥満、運動および地中海食事との関連

著 者 : L. Garcia-Marcos, et al. (スペイン ムルシア大学 呼吸器健康研究所)

掲 載 誌 : Thorax 62: 503-508 (2007)

要 旨 :

背 景 : 喘息に対する食事の影響を複数の研究が学童で調査しているが、肥満がこの影響をどのように変化できるかを評価した研究はなかった。

喘息および鼻結膜炎の有病率と各種食品および地中海食事との関連を、肥満および運動で調整して評価するために研究を着手した。

方 法 : スペイン8都市の6-7歳の学童20,106人で横断研究を実施した。

ISAAC第三段階アンケートを使用して、胸と鼻の症状、食品摂取、体重、身長および運動などの他の要因を両親が報告した。

地中海食事スコアを作成した。

現在のたまに起こる喘息(COA)と現在の重症な喘息(CSA)を区別した。

結 果 : 運動の量とは無関係に、各地中海食事スコア ユニットは少女で重症な喘息に対して小さいが予防作用を有した(調整オッズ比(OR)0.90、95%CI 0.82-0.98)。

運動は少女と少年で、たまに起こる喘息および鼻結膜炎の予防因子であった(運動が多いと、予防が強い)。

肥満は少女で、重症な喘息の危険因子であった(調整 OR2.35、95%CI 1.51-3.64)。

頻繁な摂取は(週に1-2回と3回以上 対 無/たまに)、魚介類(調整 OR 0.63 (95%CI 0.44-0.91)と 0.53(95%CI 0.35-0.80))および穀類(調整 OR 0.56(95%CI 0.30-1.02)と 0.39(95%CI 0.23-0.68))で別々に、重症な喘息の予防因子であったが、ファーストフードは危険因子であった(調整 OR1.64(95%CI 1.28-2.10)と 2.26(95%CI 1.09-4.68))。

魚介類(調整 OR 0.74(95%CI 0.60-0.92)と 0.67(95%CI 0.53-0.85))および果物(調整 OR 0.76(95%CI 0.60-0.97)と 0.71(95%CI 0.57-0.88))は、鼻結膜炎の予防因子であった。

結 論 : 地中海食事は、重症な喘息のある6-7歳の少女で潜在的な予防作用を有する。肥満は少女だけで、この種の喘息の危険因子である。
